

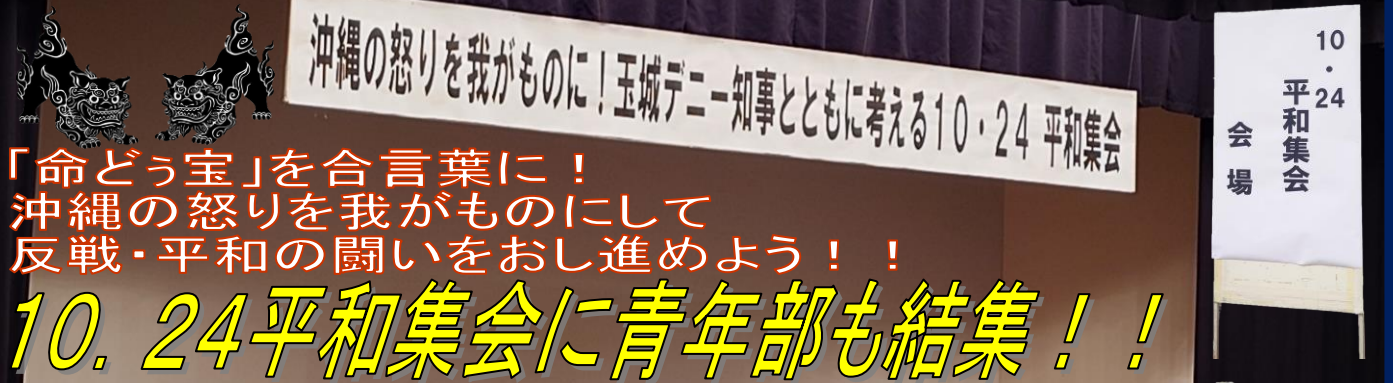


～ 自他共栄～ NO.13

2024年11月1日

発行責任者 根岸 大智

編集責任者 情 宣 部



10月24日「**沖縄の怒りを我がものに！玉城デニー知事とともに考える10・24平和集会**」(共催：JR総連、9条連)が開催され、貨物労組青年部15名を含む330名を超える仲間が結集し、憲法9条を守り、広範な平和運動のうねりをつくり上げることを意思統一しました。また、軍事要塞化が進む沖縄を再び「捨て石」にさせないために、沖縄との連携を強めるべく、**沖縄県・玉城デニー知事に講演**をいただきました。



戦後80年の節目の年を前に、世界は緊張状態が続き、日本においても「新たな戦前」が現実味を帯び始めてきました。

先の大戦で沖縄は本土防衛のための「捨て石」とされ、県民12万人を超える犠牲者を出しました。現在でも、県民の意志が踏みにじられ、台湾有事の名のもとに南西諸島が軍事要塞化が進められています。また、辺野古新基地建設では、現地の生態系や軟弱地盤の問題などを抱えたまま、建設が強制代執行で進められています。今こそ沖縄の怒りを我がものとして捉え、沖縄戦の教訓から生まれた「**命どう宝(ぬちどうたから)**」を合言葉に、反戦平和のたたかいをおし進めていく必要があります！

青年部は、**沖縄が日本本土に復帰した5月15日に合わせて行なわれる平和行進に参加**し、沖縄戦の実相と現在の沖縄が抱える課題を自分の肌で感じてもらう取り組みを実施しています(今年の平和研修の様子は右下QRコードから!)。現地に行くことで得られる情報、雰囲気がありますので、中央本部・各地本主催の平和研修と併せて是非参加してみましよう！



私たちは玉城デニー知事と共に 職場と地域から平和を守るために行動しよう！！

